

第 3 回「蕨の会」中仙道蕨宿散策！（2013 年 12 月 12 日）

「蕨の会」は、埼玉在住の同期を中心にした集まりである。
今回は、第 3 回目で初冬の「中仙道蕨宿散策」と「忘年会」。

中仙道は江戸と京を結ぶ街道。「蕨宿」は江戸時代に栄えた宿場町で、「中仙道六十九次」の江戸・日本橋から数えて 2 番目の宿場。京都側から来た場合は戸田の渡し手前にあることから、荒川増水時の川止めに備え比較的大きな宿場へと発展していった。そんな面影の残る「蕨宿」を散策した。

「蕨宿散策」には、地元メンバー成澤文和（4 組、さいたま市）、関賢治（2、蕨市）、上原昇（2、さいたま市）と、越境メンバー中山正光（11、高崎市）、内堀信（6、藤沢市）、小宮山豊（2、多摩市）の 6 名が参加した。蕨駅前 13 時に集合、成澤会長と関副会長の案内で蕨宿散策の旅はスタート。駅前通りを 20 分ほど歩いたところで、「中仙道四国屋」で温かい讃岐うどんをいただきながら、旅のスケジュール案内があった。その後、三学院（三重ノ塔）→はね橋を経て、中仙道通り（蕨本陣跡－歴史民俗資料館－長泉院－蕨城跡、和楽備神社）へと散策した。

蕨宿の本陣は、大名や公家などの休泊所であり、大名が休泊する時は、到着日を知らせ、関札を門前などに掲げ、提灯を吊るし、幕を張って一行を迎えたところだ。

「蕨城跡」は、江戸時代の初めに、鷹狩り用の休憩地の「御殿」としても利用された由緒ある「城跡」。初冬の午後、宿場の面影を残す蕨宿を散策しながら、歴史とロマンにちょっぴり浸ったひと時でした。

散策を終え、18 時から打ち上げを兼ねての忘年会。会場の「ろばた焼きの飛雄馬」では、店長直筆の「蕨の会」色紙をいただくサプライズも。

忘年会には、蕨宿散策の旅に参加した成澤、関、中山、内堀、小宮山に加え、田村栄治（1、志木市）、宮原豊（9、越谷市）が参加、また、急遽、飛び入りの生島和明（1、上尾市）君を加えての 8 名であった。蕨宿散策の反省会と、初めて参加の生島君の話題、前日開催と勘違いして参加できなかった 0 君の話題などで、大いに盛り上がる忘年会となった。

成澤会長より来年以降 2017 年までの詳細な「蕨の会行動計画」が示され、全会一致で了承された。因みに、来年 4 月には、大宮散策の会（氷川神社～県立歴史と民族の博物館：幹事上原）、来年秋には、秩父～長瀬（紅葉と川下り、1泊2日の旅：幹事成澤）を計画している。

今から楽しみな「蕨の会」である。

一日中すっかりお世話になった幹事の成澤、関両君に感謝。

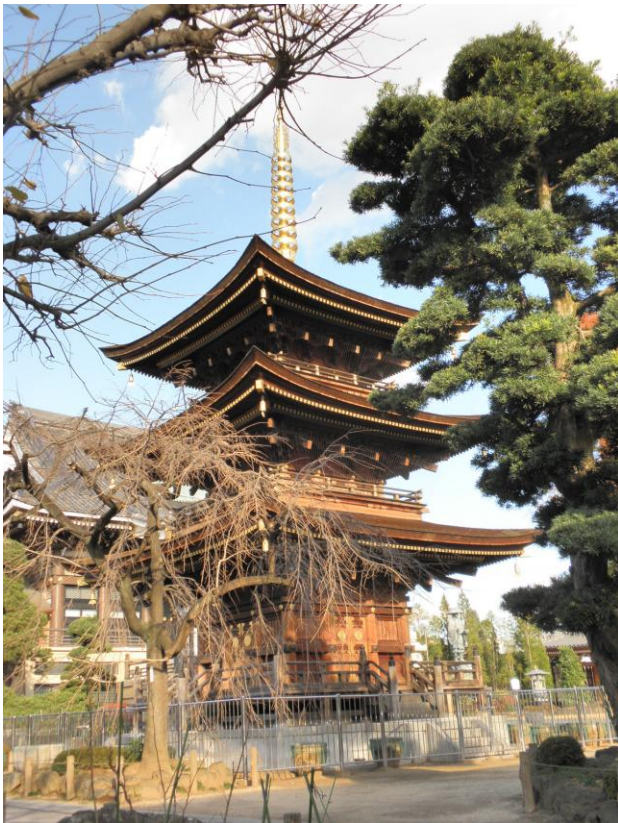
（2013.12.15 小宮山記）

【写真説明】

- ① 散策前に腹ごしらえ、うどん屋前にて（左から内堀、成澤、中山、関、上原、小宮山）
- ② ②三学院三重塔 ③蕨市歴史民俗資料館にて
- ④ 忘年会風景（手前から時計回りで成澤、関、田村、内堀、生島、小宮山、中山、宮原）



写真①



写真②



写真③



写真④